武蔵野市 中高生世代広場 (平成30年度第2クール)

- 実施報告書-

平成31年3月 武蔵野市



(1) 実 施 目 的

- 中高生世代広場は、市の将来を担う中高生の意見を積極的に市 政運営に反映するとともに、参加する中高生が課題を通して市の新 たな魅力に気が付き、より市への関心を高めてもらうことを目的にした 若者世代向けのワークショップです。
- 平成30年度の第2クール(平成30年10月~31年1月)では、 次期「子どもプラン武蔵野」策定に向けた検討の一環として、子ども プラン武蔵野の事業の対象者である中高生の視点で、子ども・子育 て支援に関する市の施策に提言を行うことを目的に実施しました。

<最終回に参加した中高生と大学生アドバイザー>



(2)プログラム 概 要

■ 民間による活動が活発になってきた「子ども・コミュニティ食堂」をテーマに、市内在住・在学の中高生(計15人)と、サポート役として参加する大学生(計10人)が、体験(食堂見学)と対話(ワークショップ)を通して、子ども・コミュニティ食堂における市の支援などについて、提言書として取りまとめました。

第1回(10/21) 「子ども・コミュニティ食堂 ってどんなところ?」

食堂の運営団体の方たちにお 話を聞いてみよう 第2回(11/18) 「食堂について考えてみよう」

食堂の方のお話を踏まえ、疑問や課題を洗い出してみよう

(インプット)

見学・体験(11/14~12/2) 「食堂に行ってみよう」

食事作りやお手伝い、利用者 との交流など、食堂を実際に 体験しよう

体験(インプット)

第3回(12/16) 「体験の共有と課題の深掘り」

> 食堂での体験を共有し、中高 生としての課題解決策を考え、 ポスターにしよう

> > 創造(アウトプット)

第4回(1/20) 「まとめ・提言」

課題解決策として、自分たち でできることと、市への提言をま とめ、発表しよう

まとめ

	日時	内 容
【第1回】	10月21日(日) 13:30~16:00	■ 子どもプラン武蔵野、子ども・コミュニティ食堂についての説明と、アイスブレイク。■ 子ども・コミュニティ食堂の運営団体の方をお招きしてインタビューをしました。
【第2回】	11月18日(日) 13:30~16:00	■ 第1回のインタビューを踏まえつつ、次回の食堂見学の際にききたいこと、中高生が 課題に思うこと、その解決策などを出し合い、シートにまとめました。
【見学・ 体験】	11月中旬~ 12月初旬	■ 市内の4か所の子ども・コミュニティ食堂へ行って、実際にごはんをいただきました。■ 食事作り、そのほかのお手伝い、利用者との交流など様々な体験をしました。
【第3回】	12月16日(日) 13:30~16:00	■ 食堂で体験したことや感じたことを互いに発表し合い、第2回で考えた課題や解決 策を深掘りし、それらをまとめたポスターの制作にとりかかりました。
【第4回】	1月20日(日) 13:30~15:00	■ 第3回で深掘りした課題や解決策について、「自分たちでできること」、「市への提言」をまとめてポスター完成。最後に全員がそれぞれの思いを発表しました。

2. 第1回 テーマ:子ども・コミュニティ食堂ってどんなところ?

(1) 概要

①日時:平成30年10月21日(日) 午後1時30分から午後4時

②会場:武蔵野市役所 802会議室

③参加人数:高校生4名 大学生6名

④実施の目的:第2クールのテーマ「子どもプラン武蔵野」、「子ども・コミュニティ食堂」について学び、理解を深める

ことにより、自分なりの疑問や課題を考えていくための糸口とする。

(2) 当日の様子

① ガイダンス&アイスブレイク

- 第 2 クールの概要(テーマやスケジュール)について、市より説明を行いました。
- 参加者のアイスブレイクを目的に「子どもプランクイズ」を行いました。みんなで楽しく参加し、和やかな雰囲気でのスタートとなりました。

②「子どもプラン」とは?「子ども・コミュニティ食堂」とは?

■「子どもプラン武蔵野」の概要、「子ども・コミュニティ食堂」の概要について市より説明を行いました。まだ具体的にイメージするのは難しそうです。

③ 食堂のみなさんのパネルディスカッション

- 市内の6つの子ども・コミュニティ食堂の運営団体の方々にお越しいただき、パネルディスカッション形式でお話を伺いました。各食堂の自己紹介、食堂を始めたきっかけ、現状の課題など、各団体がどのような思いで運営しているかが伝わってくる興味深いお話でした。
- 質問タイムには、高校生から食堂の方への質問に加え、食堂の方から 高校生への逆質問もあるなど、和気あいあいとした時間になりました。

④ グループワーク&まとめ

- 食堂の方が帰った後、お話を聞いて気づいたこと、課題だと思ったことを意見出ししました。
- 初めてのテーマであるにもかかわらず、早速いろいろな意見が出されました。 次回につながるまとめができました。

<グループワークの様子>

()// J / O(1x | 1

誰でも 行ってもい いのかな?





<食堂のみなさんのお話>







3. 第2回 テーマ: 食堂について考えてみよう

(1) 概要

①日時:平成30年11月18日(日) 午後1時30分から午後4時

②会場:武蔵野プレイス スペースC

③参加人数:中学生3名 高校生3名 大学生1名

④実施の目的:第1回の食堂の方のお話を踏まえ、食堂についての疑問・質問や課題と思うことを出し合い、共有す

る。出し合った意見はシートにまとめ、食堂見学の際に役立てるものとする。

(2) 当日の様子

① ガイダンス&振り返り

■ 第1回の内容が盛りだくさんだったため、子どもプランや子ども・コミュニティ食堂の概要、食堂の方へのインタビューについて、あらためて振り返りを行いました。

② 食堂見学用インタビューシートの作成

- 第1回のグループワークで出し合った意見も含めて、再度疑問・質問や課題を出し合い、解決策を見据えて話し合いました。
- 今回の第2回実行委員会の前に、先行して「MEW食堂」に見学に行った高校生から、実際の食堂の様子を報告してもらいました。具体的な食堂のお話がきけて、この日のグループワークを進める上で、とても参考になったようです。
- いろいろな課題が出された中で、中高生が取り組みやすい課題として、食堂の「周知方法」や「参加しやすさ」を主な課題として検討を進めました。

③ まとめ・発表

■ 自分が課題に思う事や感想を発表しました。他のメンバーの発表をきいて、さらに自分の考えを深めることができたようです。

<参加した中高生>



<振り返り>



くグループワークの様子>



<出された意見や疑問など>



習などやるこ

とがある方が いいな!

学校でチラシ

を配ったらいい

んじゃない?

4. 実際に子ども・コミュニティ食堂に行ってみよう!

(1) 概要

○実施の目的:市内4ヶ所の子ども・コミュニティ食堂を訪問し、実際の食事やお手伝い、地域交流を体験する。 第2回で作成した食堂見学用のインタビューシートをもとに現地で取材をすることで、課題に対する理解を深める。

名称		日	曜日	時間	参加人数
1	MEW食堂	平成30年11月14日	(水)	午後5時30分~午後8時	中学生0名 高校生2名 大学生1名
2	みかづき子ども食堂	平成30年11月21日	(水)	午後5時30分~午後7時30分	中学生2名 高校生1名 大学生1名
3	みんなでごはんプロジェクト	平成30年11月23日	(金•祝)	午前10時~午後3時	中学生2名 高校生0名 大学生2名
4	きらくら	平成30年12月2日	(日)	午前10時~午後1時	中学生2名 高校生1名 大学生2名

(2) 当日の様子

<MEW食堂>

お一人、家族連れ、子ども同士など利用者は様々。 中高生は食事の前に、工作のワークショップに参加し、 小学生の子ども達に作り方を教えてあげたり、一緒に ゲームをしたりと交流も楽しんでいた。



くみかづき子ども食堂>

親子連れ、小学生までが多いが、大人も高齢の方も利用。小学生同士の参加も比較的多い。中高生は常連の方とも話をしたり、運営者の方に質問をしたりしていた。一人で行ってもすぐ馴染めそうとの感想も。



利用者の方と 楽しくおしゃべり♪



<みんなでごはんプロジェクト>

利用者は親子連れ、大人のみ、夫婦など年齢層も 様々。中高生は「かまど」でごはんを炊くお手伝いに挑 戦。スタッフや利用者の前で自己紹介をしたりと、食事 以外にもお手伝いや交流を楽しんでいた。



くきらくら>

利用者のメイン層は高齢者で、親子連れの姿もあった。顔見知りの利用者も多い様子。中高生は会場片付けのお手伝いをしたり、スタッフの手が空いた時間に熱心に質問するなど積極的に参加していた。





今日のメニューは・・・ 大きなミートボールとプロッコリーの煮込み、 バターライス、サラダ、クッキーでした!

5. 第3回 テーマ:食堂と中高生世代広場の魅力をポスターに表現しよう。

(1) 概要

①日時:平成30年12月16日(日) 午後1時30分から午後4時

②会場:武蔵野市役所 811会議室

③参加人数:中学生1名 高校生3名 大学生4名

④実施の目的:食堂見学で得たことを共有し、第1回・第2回で検討した課題・解決策について実体験に基づいた

検証を行う。食事やお手伝い、交流を通して感じた食堂の魅力をポスターに表現する。

(2) 当日の様子

① ガイダンス&振り返り

■ 第3回・第4回で行うポスター制作について市より説明を行いました。

■ 第1回・第2回で出た意見を振り返り、検討してきた課題・解決策に ついて確認しました。

② 食堂見学の共有

- 実際に食堂で食事やお手伝いを体験して感じたことや、第2回で作成したインタビューシートをもとに聞けたことを各食堂ごとに発表してもらいました。食事がおいしかった、お手伝いできることがある方がよかったなど、体験したからこそ感じた意見が多く出ました。
- ▼ 欠席の中高生から事前にもらった食堂見学の感想も共有しました。
- ワークシート【視察報告】「行ってみたらこんなところだったよ!」 (10 頁参照) を作成

③ ポスター上段の制作

- 第3回では、ポスター上半分を作成しました。内容は「子ども・コミュニティ食堂」及び「中高生世代広場」のPRとしました。食堂見学の写真や感想を盛り込み、中高生世代広場自体の楽しさも伝わるように工夫しました。
- オリジナルのイラストや、吹き出しにコメントを書いて貼り付けるなど、中高生ならではのポスターが出来ました。

<参加した中高生とポスター>



く食堂の振り返り>



<話し合いの様子>



<ポスター制作の様子>



6. 第4回 テーマ:自分たちにできること・市への提言をポスターに書きこもう

(1) 概要

①日時:平成31年1月20日(日) 午後1時30分から午後3時

②会場:武蔵野市役所 412会議室

③参加人数:中学生2名 高校生2名 大学生7名

④実施の目的:第3回に引き続き、ポスター制作を通して、自分達の考えをまとめて表現する。市に対する提言だけ

でなく、自分たちにできることを考えることで、当事者としての行動につなげてもらう。

(2) 当日の様子

① ガイダンス&振り返り

■ 第3回に制作したポスター上段を見ながら、第4回で制作するポスター 下段に表現する内容について共有しました。

② ポスター制作

- これまでに挙がった課題から「周知方法」や「参加しやすさ」について、「自分たちにできること(宣言)」と「市への提言」を考えてポスターに表現しました。もっと知ってもらうには、また参加しやすくするにはどのようにすれば良いのかを考え、文字やイラスト、図で表しました。 《提言の詳細は成果物:ポスター(7頁)及びポスター本体(別添)を参照》
- 背景に黒板にして、「子ども食堂の魅力を感じてもらうには」というタイトルをつけ、課題解決のための宣言・提言を書きこみました。
- 参加した中高生の後ろ姿の写真を用いて板書している様子を表すなど 工夫しました。

③ まとめ・発表

- 第3回・第4回で制作したポスターをつなげて1枚にし、ポスターの内容や制作の意図について発表してもらいました。
- 参加者一人ずつに、第2クールの全4回の実行 委員会と食堂見学を通しての感想を発表してもらいました。

<振り返りの様子>



<ポーズも決まりました!>



<ポスター制作の様子>



ポスター

下段

(1) 提言の内容

■ 第1回~第4回の議論を踏まえて、1枚のポスターにまとめました。



く発表の様子>



く発表時のコメント>

子ども・コミュニティ食堂と 中高生世代広場のPR

- 子ども・コミュニティ食堂 に実際に行くことによっ て大きく印象が変わっ た。貧困じゃなくても 行っていいことを知った。
- 食事だけでなくイベント への参加や利用者の 方とおしゃべりをして楽 しい時間を過ごすこと ができた。
- また自分たちでも子ど も・コミュニティ食堂に いってみたい。

「自分たちにできること」 「市への提言」

コンセプト: 「**子ども食堂に魅力を感じ** て**もらうために**」

自分たちにできること

■ インターネット上への 発信、楽しんで参加し、 体験を他の人に伝え る。

市への提言

- 市報等での広報、その中で行ったことがある人の声を紹介するなど、誰でも行って良いと思ってもらう工夫を。
- 市内の食堂が集まってのワークショップ(スイーツ作りなど)や多世代交流などのイベント開催を。

参考資料



中高生世代広場第2クール(子ども・コミュニティ食堂)第1回、第2回実行委員会での意見や疑問など



★参加しやすさ

- 雰囲気が分からないので初参加のハードルは高そう
- ・初参加の人が会話の輪に入り易くする為にどんな工夫をしているか
- 新規メンバーと固定メンバーの比率はどの程度か
- 参加者のつながり具合(ガチガチだと新しい人が居心地悪い?)
- 予約制だと決まった人数しか来ない、自由参加だと人が来すぎるor全然来ない
- どういう人に来てもらいたいのか。どうしたら中高生が行くか?(地元と携わるか)
- ・食堂の中では何でもしてよいのか
- 様々な年代の人が楽しめるイベント
- 学生のお手伝いは受け付けているか
- こども食堂に行かない理由→こども食堂でやることがない、周りの人が行っていない 「自習室+食堂」…勉強をしに行って夕食も食べられる→中高生が行きたいと思える
- ・食事だけでなく居場所として提供。宿題したり、他の世代と話したり。
- 夕食だと親に断りをいれなきゃいけなくてハードル高いかも
- お茶する会のほうが行きやすそう
- お菓子づくりなどができると行ってみたい
- ・コミセンと同じ役割を持つ食堂
- ・事業のプラットフォーム。探したい人も事業者も情報共有できるように。
- ・年に何回か市内の子ども食堂が集まって、話し合えるワークショップをひらく
- ・外国の方の参加状況は?宗教上の理由で食べられない食品(メニュー変更の必要有?)
- アレルギーがある人たちにはどのような工夫をしているのか

☆運営について

- 団体により雰囲気が大分違うと感じた
- どのようにして、料金を夕ダで(安く)できているのか
- フードロスとのタッグ。地域のスーパー、農家などとの協力
- 母体がNPO、お金はどこから?
- ・ビジネスとして成り立った方が続くのでは?
- フードバンクは利用しているか
- ・ 払える人は払う。できる範囲で資金面の協力
- 1人蒸しパン1個とかでもいい
- 子育てが一段落ついた主婦へのオファー。完全ボランティアは厳しいのでは。
- ・栄養士や飲食店、調理師志望の人の経験の場
- ・駅近・バス通りの立地の活用法
- 市など公共団体の立場からは何ができるのか?

★周知方法

- どのような人をターゲットにどのように周知している?
- 子どもに伝わるように何をしているか
- ・色々な施設にこども食堂のポスターをはったらいいと思う。
- 学校と連携して気になる子に声をかけてみる。

「ある」と存在だけでも知ってもらう。来たい時来れる準備。

- 学校でチラシを配ってもらえると目は通すかも
- ・拡散力→主婦(お母様方)のコミュニティーを狙う?
- ネットだと興味のある人にしか届かないこともありそう
- facebookは使わないと思う。ツイッターのほうが若い人は使うかも
- 動画作成(雰囲気が伝わるような)
- パンフレットに利用者の声をのせる
- ・周知がいまいち行き届いていない。合同イベント可能?

☆開催日 (頻度)

- •月1で本当に"ニーズ"に届くのか
- どうしてその頻度に決めたのか
- 他の食堂との連携。子ども食堂力レンダー。メニューも。

☆貧困について

- 団体によりニーズのとらえ方に差がある (貧困のみをニーズととらえるかどうか)
- 貧困じゃなくても行っていいことを知った
- 子ども食堂に行くことがレッテル貼りになってしまう
- 「『子ども食堂』=貧困」のイメージが染みつきつつある。
- →名前をかえるか、イメージを変えるか?
- 「子ども食堂」ってするといじめの原因に…
- 生活に困っている人が意外といっぱいいたことに驚いた
- 子ども食堂では、食堂に対する偏見のようなものを感じたことはあるか

10

10

行ってみたい 度は☆いくつ かな?? 中高生世代広場 第2クール(子ども・コミュニティ食堂) 【視察報告】行ってみたらこんなところだった!

発表が終わったら、 「ここはどうだっ た?」など質問して みよう!

★★★ MEW食堂

「みんなでわいわい晩ごはん、君のこころもお腹も満たしちゃえ!!」

-メモ-

コンセプト

- ・参加者は親子連れ、商店会会長など
- ・食事以外に工作も楽しんでいた。メニューは和食、煮物。
- ・開催は2ヶ月に1回、スタッフも楽しめる範囲で。
- 「みんなでごはん」さんが手伝ってくれている
- ちらしで宣伝。
- 市で作成した食堂の連絡網で連絡を取り合っている。
- 「子ども」食堂と言っても、大人も普通にたくさんいる。

-職員感想-

- ・大人、未就学児から小学生、親子連れなど年齢層は様々。食事の前後は自由にお しゃべりやゲーム、工作(ロゼットづくり)を楽しむ様子。
- スタッフに声をかけてもらえて、初めてでも参加しやすい雰囲気。
- 当日は子ども達に工作やゲームを教えたり、自分達も真剣に取り組みました!
- 他食堂も掛け持つボランティアが楽しんでできる頻度が望ましいとスタッフの声。

★★★ みかづき子ども食堂

コンセプト

「おいしい食事で 子どもに幸せな時間を届けます。」

-メモ

- ・食事は無添加、国産。お米は買ったことがないくらい寄付でまかなえる。
- バザーに出品して運営費を稼ぐ。
- ・来ている大人の人で、「子どもは無料だからお金を払うために来ている」という 人もいた。
- ・食べたら入れ替わらないと次の人が入れないくらい混雑していた。
- 恵まれない子のためだけでなく、にぎやかな感じで驚き、うれしかった。
- .

-職員感想-

- ・靴の置き場に困るほどの大盛況!スタッフが外で近所迷惑とならないよう気配り。
- おかわり自由!帰りには食堂に寄付されたりんごやみかんもいただきました。
- にぎやかな雰囲気に圧倒されることなく、同じテーブルの人たちとお話しながら 楽しくお食事できました!スタッフの方も忙しい中、いろいろ教えてくれました。

★★★ みんなでごはんプロジェクト

「地域のみなさんが、みんなで一緒にあたたかい「ごはん」を 食べながら、家族のようにつながれる居場所です。」

-メモ-

- かまどで全て調理するので、たくさん調理できる。
- ・小学4年生2名もお手伝いしていた。
- いつも来ている人にはそれぞれの知り合いが居て、初めての人には少しハードルあり?
- 子どもだけの子はいなかった、子どもが来やすくするとよい。
- ・食堂の場所が、境内の奥の方でわかりづらいため工夫が必要。
- スタッフからも料金を徴収しながら運営している。

-職員感想-

- お寺の広間でかまどもあって、子ども食堂に最適!?
- ・かまどの仕込から後片付けまで1日働き、スタッフの方もとても喜んでいました。
- ・平和のイベントの時間には、お話についての感想を求められ、みなさんの前で発表しました。長い1日 お疲れ様でした!

コンセプト

きらくら

「子どもからお年寄りまで バランス定食を楽しんで」

-メモ-

- ・メニューは洋食、柔らかめで高齢者でも食べやすいと思う。
- 入りづらいことはなく、いつも来ている方たちがいろいろ話しかけてくれた。
- ・高齢者の孤食の解消にもなっているようだ。

- .
- _
- -職員感想-
- ・下は未就学児、上は80代、そして中高生のみなさん、と多世代交流の場でした!お客さん同士が声をかけあい、和気あいあいとした空間。年配のお客さんが子ども連れのママさんにやさしく話しかける様子も見られました。
- 美味しくてバランスの良いメニュー。そばの芽などの珍しい食材も!
- 食事後は会議室の片づけのお手伝い。スタッフの方にインタビューをお願いしました



くきらくら>



くほっとハウス~ひつじ食堂>



<コドモ食堂(hym)>



<MEW食堂)>



武蔵野市 中高生世代広場 (平成30年度第2クール)

平成31年3月発行

武蔵野市 子ども家庭部 子ども政策課

東京都武蔵野市緑町2-2-28 TEL 0422-60-1851 (子ども政策課)